



関東歯内療法学会

第25回 ハンズオンセミナー

テーマ

歯内療法の問題予防とその治療

第27回 サマーセミナー

テーマ

歯内療法における法的トラブルへの対応と予防策

大会長

武市 収教授（日本大学）

実行委員長

勝呂 尚先生（日本大学）

主催

関東歯内療法学会

タイムスケジュール

2024年8月29日（木）

ハンズオンセミナー

- 11:30 開場
- 12:00～16:00 ハンズオンセミナー
- 講師 岡口 守雄先生
（東京都開業 岡口歯科クリニック 院長）
- 石崎 秀隆先生
（静岡県富士市 きうち歯科医院）
- 会長挨拶 澤田 則宏会長

サマーセミナー

- 17:00～17:10 大会長開演挨拶 武市 収教授（日本大学）
- 協賛企業挨拶
トロフィー・ラジオロジー・ジャパン株式会社代表
- 17:10～18:40 講演 小畑 真先生
（弁護士法人小畑法律事務所 所長、歯科医師）
- 18:40～19:00 総合討議
- 19:15～20:30 ビアパーティ

場所

ハンズオンセミナー

モリタのショールーム「デンタルプラザ東京」内トレーニングセンター

*実習は2人で1台顕微鏡使用

理事会・サマーセミナー

日本大学歯学部 創設百周年記念講堂

ビアパーティ

御茶ノ水トライエッジカンファレンス

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台4丁目2-5 御茶ノ水 Nk ビル 11階

募集人数

- ハンズオンセミナー 18人
- サマーセミナー 200人

参加費

■ハンズオンセミナー＋サマーセミナー

3万円

JEA 会員に限ります。非会員で参加希望の方は、あらかじめ入会手続きをお済ませ下さい。

ハンズオンセミナーにお申し込みの方は、サマーセミナーにも参加可能です。

当日申し込みは受け付けておりません。

■サマーセミナー

サマーセミナーのみの受講は、会員 6000 円、非会員 8000 円、学生・大学院生・研修医 3000 円

当日申し込みは受け付けておりません。

第 25 回ハンズオンセミナー

歯内療法トラブル予防とその治療

岡口 守雄先生

東京都開業 岡口歯科クリニック 院長

石崎 秀隆先生

静岡県富士市 きうち歯科医院

今年のサマーセミナーのメインテーマは「歯内療法トラブル予防とその治療」である。

そこで今回の実習セミナーでは、トラブルを起こさないための対策や起きてしまった時に、どのような治療処置が必要になるのかを実習で学んでいただく内容としたい。

我々が日々行なっている歯内療法においては、さまざまな偶発症に遭遇しやすい。それは歯内療法が歯根の中にある小さな根管を治療の対象としているためであり、切削部位を直接見て処置することが難しいことに由来する。

近年、歯科用の顕微鏡が普及し始め、適切なアクセスオープニングを行うことで根管の中や根尖部まで手に取るように見える時代になってきた。また歯内療法で起こるさまざまなトラブルにおいても明るく拡大した視野により治療が可能となってきた。

そこで今回の実習セミナーでは、マイクロスコープの基本的な使用方法から歯内療法時のトラブルをマイクロスコープを用いて如何に解消するか、またこのようなトラブルを起こさないためのマイクロスコープの使用法などについても講義やデモで解説し、受講者にもマイクロスコープを実際に用いていただき、臨床に即したMTAを用いたパフォーレンションリペアや破折ファイル・GP 除去などを実習としていただきたいと思います。

マイクロスコープの初心者の方からベテランの方までその使用レベルに合わせて実習を行い、明日からの臨床において歯内療法でのトラブルを起こさないために、また起きた時にも有効なテクニックを学んでいただけるセミナーにしたいと考えております。

岡口守雄 略歴及び所属

略歴

- 1976年 明治大学政治経済学部経済学科卒業
- 1986年 岩手医科大学歯学部卒業
- 1993年 東京都千代田区にて開業

所属

- 日本臨床歯科学会 理事
- 日本臨床歯科学会東京支部（東京 SJCD） 理事
- マイクロスコープインストラクター
- 日本顕微鏡歯科学会 理事
- 関東歯内療法学会 理事
- 日本顎咬合学会 理事、指導医
- カールツァイス公認マイクロスコープインストラクター
- AMED (academy of microscope enhanced)

■ 略歴

2005年	長崎大学歯学部卒業
2009年	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科齲蝕学分野大学院修了
2009～2014年	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科齲蝕学分野 助教
2014～2016年	長崎県佐世保市林歯科医院勤務
2016～2020年	東京都千代田区麴町岡口歯科クリニック勤務
2020年4月～	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科歯周歯内治療学分野 客員研究員
2020年7月～9月	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科歯周歯内治療学分野 助教
2023年1月～	静岡県富士市きうち歯科医院
2023年3月～4月	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科歯周歯内治療学分野 助教
2023年4月～	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科歯周歯内治療学分野 非常勤講師

■ 所属

日本歯科保存学会 認定医

日本歯内療法学会会員

日本顕微鏡歯科学会会員

ヨーロッパ歯内療法学会 Certified Member

ドイツ歯内療法・外傷歯学会

ドイツ歯科保存学会

ドイツ顎顔面医学会

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科歯周歯内治療学分野 客員研究員

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科歯周歯内治療学分野 非常勤講師

歯内療法における法的トラブルへの対応と予防策

小畑 真先生

弁護士法人小畑法律事務所 代表弁護士・歯科医師

歯科治療における法的トラブルは、高額な保険外診療で多く見られ、とりわけインプラント治療や矯正歯科治療など保険外診療で行ったケースが多くを占めます。ただし、治療箇所が1箇所でも、保険診療でも、些細なきっかけからさまざまな愁訴が発生し、時として、大きなトラブルに発展することも少なくありません。

ところで、歯内療法は、歯の内部という外からは見えない部分の治療ですので、補綴治療や外科治療など、外から見える部分の治療と比べて、治療の精度も含めて、外見からはわかりにくい治療方法と言えます。また、歯内療法終了後も、自覚症状がなければ、仮にその治療に問題があったとしても、その問題はすぐには判明せず、相当期間経過してから初めて自覚症状が発症したり、画像診断などで問題が判明することも少なくありません。

しかし、近年、歯内療法に関する法的トラブルが増加してきています。原因としては、ネット社会の浸透により、医療機関との情報格差が是正されてきていることや、患者の権利意識が高くなってきている傾向にあること、後医による無配慮な言動から前医に患者の矛先が向くことがあるなど、時代の変化に加えて、一部の医師の倫理的問題によることが伺われます。

このように、歯内療法に関する法的トラブルが増加してきている昨今、安心して良質な医療を提供し続ける上でも、現状を把握し、法的視点をもって準備するという事は、とても重要です。そこで、今回は、歯内療法における法的トラブルへの対応と予防策について解説いたします。

略歴

- 1998年 北海道大学歯学部卒業
同年より医療法人仁友会日之出歯科真駒内診療所勤務
- 2007年 臨床を続けながら、北海道大学大学院歯学研究科博士課程修了
- 2010年 北海道大学法科大学院修了
- 2011年 司法試験合格
- 2014年 小畑法律事務所開所
- 2016年 弁護士法人小畑法律事務所を設立
- 現在 東京、札幌、横浜にオフィスを構え、医療業界に特化した弁護士として活動。
講演やセミナー、執筆活動、学生教育、相談業務、法律顧問、医療裁判も多数対応。

